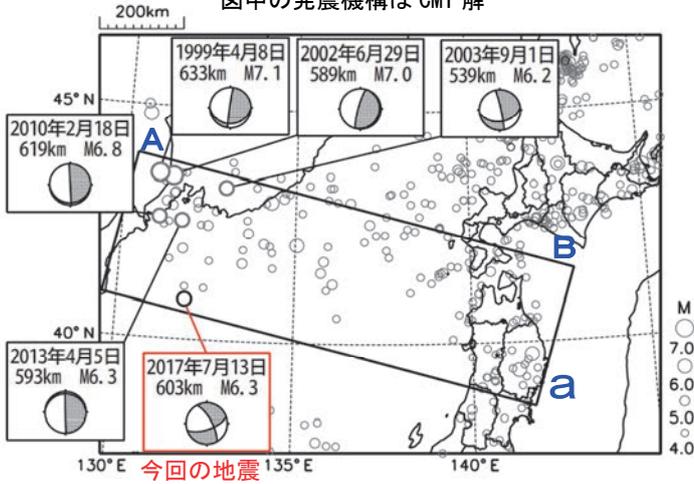


7 月 13 日 日本海西部の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2017 年 7 月 31 日、
 深さ 100～700km、 $M \geq 4.0$)
 2017 年 7 月の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解

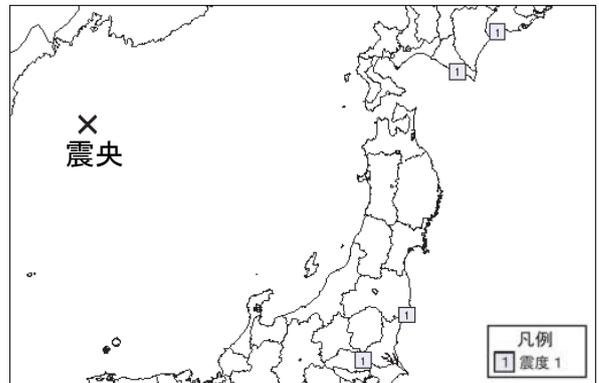


2017 年 7 月 13 日 04 時 48 分に日本海西部の深さ 603km で M6.3 の地震 (最大震度 1) が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。発震機構は太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。太平洋プレートの深部で発生した地震では、しばしば東日本の太平洋側を中心に震度 1 以上を観測することがあり、この地震でも同様の傾向がみられた。

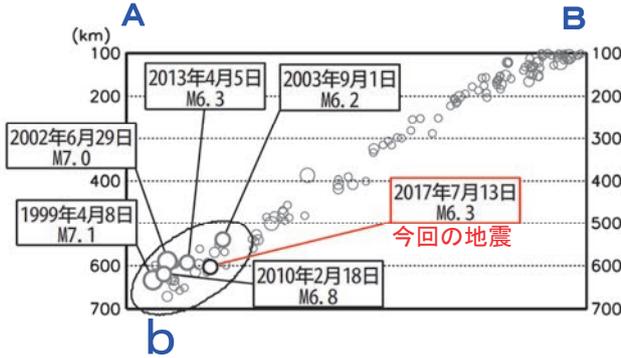
1997 年 10 月以降の領域 b 内の活動をみると、M6 を超える地震が数年に 1 回程度発生しており、日本国内で震度 2～1 を観測している。

1923 年 1 月以降の領域 c 内の活動をみると、M7.0 以上の地震が 4 回発生しており、1994 年 7 月 22 日の地震 (M7.3) では、東日本を中心に広い範囲で震度 3～1 を観測した。

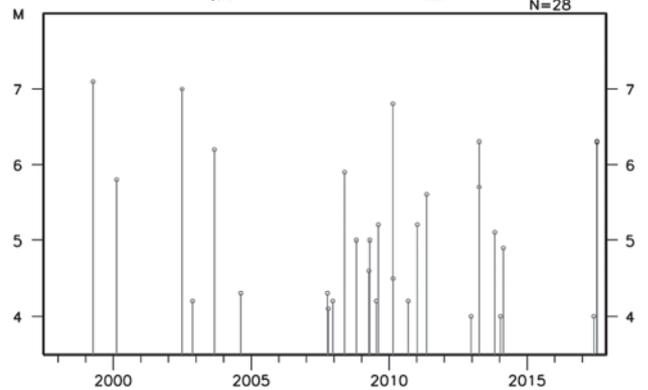
震度分布図 (観測点別)



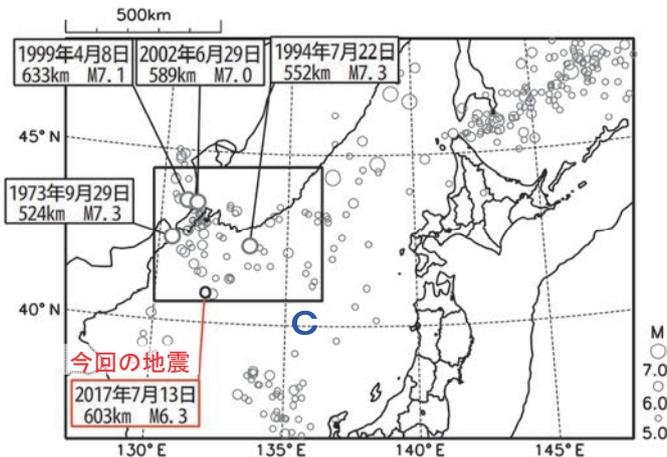
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2017 年 7 月 31 日、
 深さ 300～700 km、 $M \geq 5.0$)
 2017 年 7 月の地震を濃く表示



領域 c 内の M-T 図

